

RNA 保存液「RNA SHIELDER™」

RNA SHIELDER™

FAQ

第2回め

よくあるご質問にお答えします

ssRNA や totalRNA を、冷蔵(2~8℃)で溶液のまま、安定的に長期保存するための保存液、RNA SHIELDER™。

今回も引き続き、よくいただくご質問をご紹介しますと思います。

第2回めとなる今回は、『実際に RNA SHIELDER™ を使用する際の諸注意』に関してご紹介します。

FAQ①

Q. RNA SHIELDER™ の具体的な使用方法を教えてください。

A. RNA SHIELDER™ は 10×試薬です。RNA サンプル : RNA SHIELDER™ = 9 : 1 の体積混合比となるように混和してください。冷蔵(2~8℃)で、溶液のまま保存できます。

(混合例…RNA サンプル 45μL に対して、RNA SHIELDER™ 5μL)

また、RNA サンプル保存の場合、RNA SHIELDER™ 混合後の推奨濃度は 10ng/μL~2μg/μL です。この範囲から外れる場合には、希釈や濃縮を行っていただくことをお奨めいたします。

FAQ②

Q. 保存したい RNA の溶媒は、何であっても大丈夫でしょうか。RNA 保存能は、溶媒によって差が出ることはありますか。

A. TE buffer、DEPC Water、RNase Free Water で、保存能に差が出ないことが確認されています。

FAQ③

Q. RNA SHIELDER™ と混合した ssRNA のコピー数の算出方法を教えてください。

A. 弊社では、RNA 塩基の平均分子量を用いた以下の式で算出しております。この際にご注意いただきたいのが、吸光度測定は RNA SHIELDER™ を混和する前に行っていただきたいという点です。

ssRNA 質量濃度 : C_m ng/μL

ssRNA 鎖長 : N

RNA 塩基の平均分子量 : 340 Da

アボガドロ数 : 6.02×10^{23} copy/mol

$$\begin{aligned} C_m [\text{ng}/\mu\text{L}] &= C_m \times 10^{-9} [\text{g}/\mu\text{L}] = (C_m \times 10^{-9}) \div (340 \times N) [\text{mol}/\mu\text{L}] \\ &= (C_m \times 10^{-9} \times 6.02 \times 10^{23}) \div (340 \times N) [\text{copy}/\mu\text{L}] \end{aligned}$$

FAQ④

Q. RNA SHIELDER™と混合した totalRNA の質量はどのようにして求めれば良い？

A. 吸光度から算出します。弊社のホームページにある[便利ツール](#)で簡単に算出できますので、是非ご活用ください。この際、吸光度測定はRNA SHIELDER™を[混和する前](#)に行ってください。

弊社『便利ツール』は[こちら](#)

『RNA SHIELDER™』詳細は[こちら](#)

その他にもご質問等がありましたら、弊社まで直接お問い合わせください。